

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙 一枚二錢二分五厘
定價 銀三ヶ月前金壹圓六ヶ月前
金貳圓 郵費一ヶ月十三銭
月曜日及大祭日の翌日は休刊(官刊)
廣告 ①五銭活字十七字時一行一週金
料金五十銭 ②無報特種廣告五銭活
字十七字時一行金七十銭
發行所 京師西馬場小門通(電話六六三) 高木久 神尾太郎
印刷人 京城西馬場小門通(電話六六三) 高木久 神尾太郎

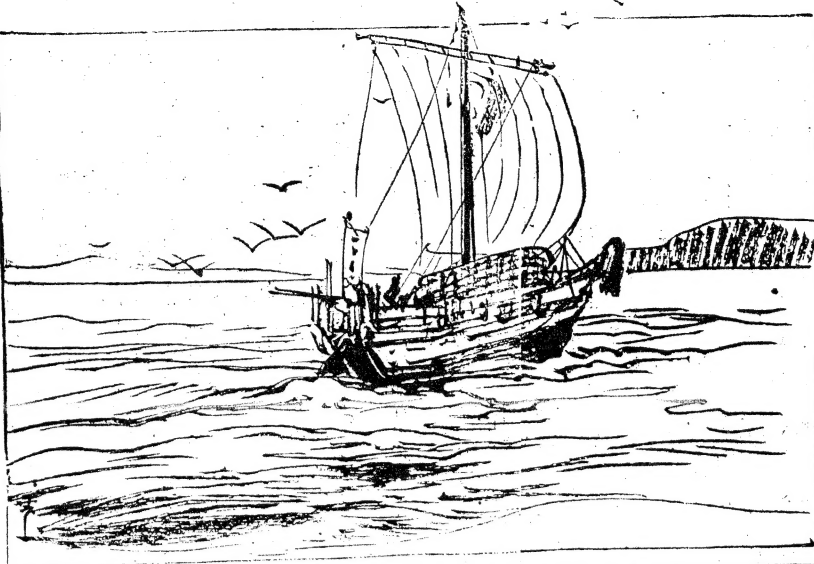
發行所 京城新報社

加しつゝあり、會事は既に兵營工事に着手せしを以て道を閉へて入込む者甚だ多きも、實は傳ふる程の大工事ならざるに失國し居るが如し、然れども工事は同明年中繼續すべきに依り幾分の暇を持續することとなるべし、歸途佐野州學士は元山遊事連の依頼に依り同地氷道の水源地に視察すべく暫く滞在することとなり、予は別れて歸任せり

小作料の收納及處分 本社の所有地は、
より引受けたる出資地又は賃借地は、
當家の專任土宮庄土又は陵園墓位土
と稱するものにして古來各種の由緒
沿革と有し小作人に對しても亦特種
の關係と有せり從て小作料の額收納
の方法管理の狀況等多様多様に涉り
千變萬別なる小作料は一般民有地

して航海期に困難なるが如かりき、
津灣に上陸すれば海岸の埋設工事や
市街道路及び揚陸場の築造工事をあ
らば使用上の石材は目下欠出し中し
市中活氣を呈せるとを見出、更に北す
以養老をひきて茂山嶺の山路左右
懸崖に岩壁間、名知らねど我邦の
標に似たる花など今と盛んに咲く
でたる風物傳へも云はれず、羅南に赴
ては軍用水道敷設準備の爲めに於
ける堀佐野工學士を同行し踏査の結
水潭地と羅北海の上流二里四月田淵
決定したが、悪天は三箇月後な
べく、施工期は一箇年半の予定にな
るの状況は、吳幹工事中の状況は國

第百十六席 津田近江之守 (二)



得まして、久々な目通りを願ひに罷しうございます、誠に何から詫言
出でましたのでございます、何うぞ目
服様に目通りをた許したし置のれ
せなれば有難き、仕合せにございま
かち「アア」然うか、夫りやア
アよく出でゐつた、毎度前年の噂
をして居ました、さア何うぞ此方へ通
つて来られ、なんな洗足水を取つ
て上げやうか、重助「エエさう仕りま
して、勝手は存じて居りますから、それ
ぢやアれ書所の方へ廻して頂きます」
と以前の氣質に毫も變らず、まめく
も勝手の方へ這つて盡りまして足
洗つて居ります、奥方は朝に奥へ

りまして、**か旦那様**が参りましてございます。**彌一**直が参つた、ホ、ウそれは、**ア**何か何ういたして居つたのか、**カ**左様でございます。大坂の方で長がらく参合をいたして、此の申度次第について暇を貰つた、此のてして居ります。**彌一**ア何は兎もわぬ此方へ通さ、云ふうちに當人は足をはひの上りまして、半合羽のとを脱ぎ、**ア**何だ、**助**エ、刀剣でございます、**彌一**それはい何うも結構だな、マア何の鑑定は一向不得手だが、刀剣類は分り公も自慢ではないが、**相**に勘定付かねどもあるまい、**實品**か、**助**標なことでございます、兎も角も御鑑定を願ひうございます、早速次の定を願ひうございまして、**刀箱**と**風呂敷**に置いてございまして、**刀箱**は

廣 告

「ホ、ウなど一向箱の新しいが、ハヤ新刀であると思つた一箱を開つて、中から取出したものが、立派な後、入れて下さいませ」

銘 白 雪 灘 屋

寶山京町
電話三三一

訂正諸願契約起案諸會社定款
作成其他諸股の代
有者拾數年の經驗と購買さ
以て迅速に依頼者の満足を目
ざし事の大小難易を問はず自
ら其衝に當り極力成功を期す
京城裁判所前向

池田事務所

金萬のを專に拘はらず十二
分の便利を以て迅速調相
案に應ず實物は明事取裁
保衛で安全に一定の場所に
保管す

京城商町
大槻商行質部

流質品と雖も場所の許す限
り可成長期間大切に留保し
萬遺漏なきと期す

電話 二八一 番

やすらぎ

<p>本院は毎日（日曜及祭日を除く）午前九時より午後四時各専門醫に診療を依頼す。</p> <p>但 松村和田兩先生の診療時間は午前九時より正午迄とす。</p>	<p>龍山榮町文山薈</p>	<p>建築業 柴田芝六</p> <p>電話五五五六十八番</p>	<p>木材賣却廣告</p> <p>一鵬綠江松材現木</p> <p>長サ八尺五寸以上二間半 一尺五寸角以上二尺迄</p> <p>右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方には御來談被下度願上候</p> <p>京東談被下度願上候 町三丁目</p>
<p>龍山居留民團</p> <p>托</p> <p>龍山醫院</p>	<p>龍山醫院</p>	<p>入院 意院</p> <p>菅醫院</p> <p>電話三三一五番</p>	<p>小生儀島問題 付豫審中の處今同免訴と相成候條那知醫者へ謹告仕候</p> <p>京城南署下茶間十八統七月</p> <p>下野浪登</p>

初夏の
 新貨の
 趣な
 可申
 候間
 何卒
 一層
 京
 東
 生
 そ
 ば
 ま
 丁
 目
 一
 つ
 ば
 電話八三番

開業に付謹告

初夏の
 新貨の
 趣な
 可申
 候間
 何卒
 一層
 京
 東
 生
 そ
 ば
 ま
 丁
 目
 一
 つ
 ば
 電話八三番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病醫學士)
 外科教室奉職之處今般辭職左之處に開業專
 皮膚病徵毒癰病膀胱病(生殖器病)の診療に従事
 診療午前八時午後一時至五時九時迄
 南大門通三丁目
 支那郵政局前接
 京橋郵便局後
 院主佐藤皮病病院
 院主佐藤伊藏

定いを
 し
 他
 隨
 左
 室
 鑑
 か

開業

書代仲介

設々小社事務所分所
 令部小社事務所分所
 京橋本町一丁目番地
 林久蔵信託事務所
 事務員 寺井 壯
 (電話六七三號)

[illegible]

● 一風變つた本妻殿
▽ 變つた妻家出の一喝
中郡標洞六十三號四戸申首善宅に十六日午後十一時頃一婦人來り一泊せしめられと依頼するより申首善は不審に思へるが如き氣がするもの變なものと也

● 懲刑事の舊喝取財
▽ せしめんとする所を御田
廣州新院村梅善三權安植はけは七日南部往十里河正善宅に至り貴族に就いて居る経験あるに付君等一は逮捕に際しきなり併し今の世に

●**僞刑事の脅取財**
 △せしめんとする所を御用
 廣州新院村極善(一)權安植(二)は十
 七日南部往十里河正善宅に至り、鼻様は
 一人に附し、其に御座る所を目下然るべ
 られたるに、其宅に御座る所を目下然るべ
 ら配遇者の御預定中であると承る。

●**暴漢の家屋破壊** 京都府生
 小(林平三郎(一)は阿と思つて、か十七
 午後四時、西坂洞金成石方に行き、ツ
 中なるも彼は強情にして仲々實を吐
 ざる由なり

日舞行を興給する爲に於て十八日休養備
 荷のため代表者は内地に向ひ出發した
 の由、何れ近日に成るは波露會を開くべし

目次

歌舞伎座	木村一座十九日の替
新仙臺	浴類
珍芳園	其他
麻布園	其他

和洋太物

戸開かや

かやは關戸蚊帳屋
 社韓國一手特約
 其他の需の類

京

株式會社
品類各
種地種
物類各
種
●本場久留米
●珍柄手織木綿各種
●やま九夏足袋
●綿は廣島製綿工場
●特約品なり

[illegible]

